

みえ現場 de 県議会「森林づくりと森林を支える社会づくり」の開催について ～みえ森と緑の県民税導入を契機に～

1 開催趣旨

森林は水や命を育み、土砂災害や地球温暖化を防ぐなど、大切な働きを持っていますが、近年は荒れた森林が増加しており、集中豪雨の発生が増加していることもあわせると、三重県でも山崩れなどの災害が発生する危険性が高まっています。

このような中、三重県では、平成26年4月1日から「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進に、市町とともに取り組んでいくこととなりました。

そこで、県議会では、新税の導入を契機に、「森林づくりと森林を支える社会づくり」をテーマに取り上げ、森林が置かれている現状や森林づくりを進めるうえでの課題を踏まえ、三重の森林を守り、未来へつなげるための森林づくりはどうあるべきか、関係者や県民の方々から直接意見を聴くことで、議会での議論に反映していきます。

2 日 時 平成26年11月13日（木）14時00分～16時00分

3 場 所 尾鷲市民文化会館 ギャラリー兼小ホール
(せぎやまホール：三重県尾鷲市瀬木山町7-1)

4 参加者

- (1) 森林づくり・森林を支える社会づくりに関わる方 7～8人程度
(林業関係者、NPO・ボランティア団体、企業関係者、教育関係者など)
- (2) 一般公募による県民の方 2人程度
- (3) 三重県議会議員 12人
(広聴広報会議委員、環境生活農林水産常任委員長、防災県土整備企業常任委員長)

5 内 容

進行：副議長（広聴広報会議座長）

- (1) 開会あいさつ
- (2) 趣旨説明
- (3) 自己紹介
- (4) 意見交換
- (5) 閉会あいさつ

6 主 催

三重県議会、三重県議会広聴広報会議